
五月闇

たかな

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

五月闇

【Nコード】

N1090F

【作者名】

たかな

【あらすじ】

バスの中で繰り返し広げられる少女と先生。片思いの少女の狙いとは？

先生、先生おきてください…あ、よかった…。

そんな驚いた顔しないでくださいよ。

え？ああ、私ですか？

そうですね、いつもこのバスで帰るんです。

そして、いつもこの一番後ろのドア側のこの席に座ってるんですよ。だって荷物が置いて便利じゃないですか。

女の子の鞆の中って、ドラえもんの四次元ポケットみたいにいろいろなものが入ってるんですよ。

本物みたいに重さがなければいいんですけどね。

…あ、うん…。教科書とか入ってない…。

ごめんなさい。今度からちゃんと持ち歩きますよー。

…雨ひどいですね。先生傘持ってきてないんですか？

仕方ないなあ…。ほら、これ貸してあげます。

私折りたたみ持ってきてるんで、これがないぐらい平気ですから。うーん。貸した傘…ちよつと先生には可愛いすぎますね。アハハ。

やっぱりこの折りたたみの方がしますね。

あ、別に返すのはいつでもいいですから。

先生、私…こわいんです。

バスに乗るたびにね、この真っ暗な道をこのバスが走ってる間、

このまま、まるで地球のブラックホールに吸い込まれて、

ちっぴけな塵みたいになって、パツてまるで電球を消すかの様に消

えちやうんじやないかって。

そして私なんていなくなっただかの様な扱いを受けちゃうんです…。

先生。

そろそろ着きますね。

一緒に降りてくれますか？

私ね。先生のことですごくすごく好きでした。

あれ？せーんせーほら、こっちこっち！

もう、直ぐに離れようとしなくてくださいよ。

他に降りた人なんていないんですから。

前にもね、私先生のこと。

あのバスで何度か見かけたんですよ。

そう、あの時。今みたいな陰険な雨が降っていたあの日にも先生がバスの中にいたこと。知っていたんですよ。

でも、すごく疲れた顔していたから…今日みたいに声かけなかったんです。

で、私が降りた後、先生も降りたじゃないですか。

実はすごくドキドキしていました。

先生、覚えていますか？

ここですよ、先生が私を

先生が私を犯した場所。

そして先生が私を殺した場所。

もう27年も前の話になるんですね…。

私、いまだに見つけてもらえてないんです。

先生にもう一度会いたかったから、わざと見つからないように、こっそりこっそり隠れていたんです。

よかった、また逢えて。

先生。愛してる。

雨が上がった後には古ぼけた赤い傘と、
小さなウサギと水玉の柄の傘のみ残されていた。
辺りに茂っていた陰鬱な木々は、艶やかな水を湛え、夏の香りを運
び始めた。

（後書き）

いやぁ… 30分程度で書き上げて
そのまま見直しかしてないんです…
あまりいじるのがちよつといやだったもので…
ほんと駄文ですみません…。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1090f/>

五月闇

2010年10月17日06時53分発行